



## 平成28年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年5月13日

上場会社名 北川精機株式会社

コード番号 6327 URL <http://www.kitagawaseiki.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 北川 条範

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長

(氏名) 小林 由和

TEL 0847-40-1200

四半期報告書提出予定日 平成28年5月16日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年6月期第3四半期の連結業績(平成27年7月1日～平成28年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年6月期第3四半期	2,426	△16.1	△40	—	△114	—	△140	—
27年6月期第3四半期	2,892	47.2	54	—	64	—	88	—

(注) 包括利益 28年6月期第3四半期 △198百万円 (—%) 27年6月期第3四半期 81百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年6月期第3四半期	△20.23	—
27年6月期第3四半期	12.77	12.57

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年6月期第3四半期	5,898	1,029	13.1	110.93
27年6月期	6,582	1,234	14.3	135.21

(参考) 自己資本 28年6月期第3四半期 771百万円 27年6月期 940百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年6月期	—	0.00	—	—	—
28年6月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年6月期の連結業績予想(平成27年7月1日～平成28年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,450	4.0	220	△18.1	140	△45.1	150	△16.9	21.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、【添付資料】3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に係る事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、【添付資料】3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に係る事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年6月期3Q	6,959,600 株	27年6月期	6,959,600 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

28年6月期3Q	1,796 株	27年6月期	1,796 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年6月期3Q	6,957,804 株	27年6月期3Q	6,957,804 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は本資料発表日時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想数値は異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
(4) 主要な設備 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の各種政策効果の下支えもあり、総じて緩やかな回復基調が続きました。世界経済は、米国の金融政策正常化が進む中、中国をはじめとするアジア新興国や資源国等の景気減速、地政学リスクの高まり等、先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況のもと当社グループは、新中期経営計画「新領域へのチャレンジ」～新たなK I T A G A W Aの確立～をスタートさせました。前中期経営計画における事業構造改革による業績改善基調を一層盤石なものにするため、引き続きこの体制を強化するとともに、これまで培ってきたプレス技術を駆使し、今後の大きな飛躍への土台造りとして、新領域へもチャレンジしてまいります。

このため当社グループは、高品質・高付加価値製品の開発や、主要製品の営業強化、案件毎の原価管理、諸経費削減等、積極的に取り組んでまいりました。

なお、当社グループは、主要製品が個別受注生産によるため、売上計上までに相当期間を要し、製品の納期・受注金額にバラツキがあることから、月単位での売上が大きく変動するという特徴があります。また、当第3四半期連結会計期間において、財務体質の強化を図るため、遊休資産及び隣接する本社東工場を譲渡し、本社東工場を移転することとしたため、特別損失へ固定資産売却損 51 百万円、工場移転損失引当金繰入額 30 百万円を計上しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高 2,426 百万円（前年同四半期比 16.1%減）、営業損失 40 百万円（前年同四半期は 54 百万円の利益）、経常損失 114 百万円（前年同四半期は 64 百万円の利益）、親会社に帰属する四半期純損失 140 百万円（前年同四半期は 88 百万円の利益）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### (産業機械事業)

主な売上は、スマートフォン・タブレット端末関連企業向けプリント基板成形用プレス機械を中心とした大型案件ですが、中国経済の減速等による世界経済の不透明感による受注の遅延や、取引先の投資判断による受注の延期等により、売上高 2,039 百万円（前年同四半期比 18.0%減）、営業利益 26 百万円（前年同四半期比 73.5%減）となりました。

#### (建材機械事業)

建材関連企業向け合板プレス・合板機械の大型案件の売上が、第4四半期連結会計期間に集中しているため、売上高 219 百万円（前年同四半期比 18.7%減）、営業損失 81 百万円（前年同四半期は 56 百万円の損失）となりました。

#### (その他)

油圧機器の売上が好調に推移し売上高 167 百万円（前年同四半期比 24.0%増）、営業利益 16 百万円（前年同四半期比 25.2%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は 5,898 百万円となり、前連結会計年度末に比べて 683 百万円の減少となりました。これは主に、財務体質の強化を図るため遊休資産等を譲渡した事による建物及び構築物 458 百万円、土地 304 百万円の減少、現金及び預金 390 百万円の増加に加え、受取手形及び売掛金 357 百万円の減少によるものであります。

#### (負債)

負債合計は 4,869 百万円となり、前連結会計年度末に比べて 478 百万円の減少となりました。これは主に、遊休資産等の譲渡代金を返済等に充当したため短期借入金 528 百万円の減少によるものであります。

#### (純資産)

非支配株主持分を含めた純資産合計は 1,029 百万円となり、前連結会計年度末に比べて 204 百万円の減少となりました。これは主に、親会社に帰属する四半期純損失 140 百万円によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成 28 年 6 月期通期の連結業績予想については、平成 28 年 5 月 10 日公表の「(訂正・追加) 固定資産の譲渡・取得及び特別損失計上に関するお知らせ」に記載のとおり、平成 28 年 6 月期第3四半期において、当該固定資産の譲渡に伴う「固定資産売却損」51 百万円、固定資産の取得(代替工場建設)に伴う「工場移転損失引当金繰入額」30 百万円を特別損失に計上いたしました。平成 28 年 6 月期連結の通期業績に与える影響につきましては、本件以外の要素も含めて現在精査中であり、業績予想の修正が生じる場合には速やかにお知らせいたします。

## (4) 主要な設備

① 当第3四半期連結累計期間において、売却した主要な設備は次のとおりであります。

会社名	事業名 (所在地)	資産の内容	セグメントの名称	現況	帳簿価格	売却年月
提出会社	本社PV工場 (広島県府中市)	土地 16,114 m <sup>2</sup> 建物 5,451 m <sup>2</sup>	—	遊休資産	701 百万円	平成28年3月
	本社東工場 (広島県府中市)	土地 5,061 m <sup>2</sup> 建物 1,984 m <sup>2</sup>	産業機械事業	本社工場		

(注) 帳簿価格は、平成28年3月30日(譲渡日)現在であります。

② 当第3四半期連結累計期間において、新たに確定した重要な設備の新設計画は次のとおりであります。

会社名	事業名 (所在地)	セグメントの名称	設備の内容	投資予定額	完成予定年月
提出会社	本社(仮)東工場(広島県府中市)	産業機械事業	製造設備	約200百万円	平成28年10月

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

## 税金費用の計算

税金費用については、第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

## 会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,214,484	1,605,050
受取手形及び売掛金	1,517,481	1,159,664
商品及び製品	2,236	77,069
仕掛品	393,081	474,225
原材料及び貯蔵品	181,251	160,855
その他	53,194	93,356
貸倒引当金	△26,705	△6,069
流動資産合計	3,335,025	3,564,153
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	941,632	483,257
土地	1,761,691	1,456,889
その他(純額)	206,136	183,586
有形固定資産合計	2,909,461	2,123,733
無形固定資産	8,224	14,398
投資その他の資産		
その他	342,907	227,581
貸倒引当金	△13,390	△31,119
投資その他の資産合計	329,517	196,462
固定資産合計	3,247,203	2,334,594
資産合計	6,582,228	5,898,747
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	755,052	782,718
短期借入金	2,948,447	2,419,536
未払法人税等	55,530	5,375
賞与引当金	23,943	40,292
役員賞与引当金	8,500	6,000
製品保証引当金	34,350	30,225
受注損失引当金	7,107	277
工場移転損失引当金	—	30,206
その他	611,015	701,418
流動負債合計	4,443,946	4,016,050
固定負債		
長期借入金	512,634	460,839
役員退職慰労引当金	39,677	40,704
退職給付に係る負債	315,385	324,033
その他	36,585	27,867
固定負債合計	904,281	853,444
負債合計	5,348,228	4,869,494

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,250,830	1,250,830
資本剰余金	1,256,565	1,256,565
利益剰余金	△1,600,862	△1,741,624
自己株式	△1,094	△1,094
株主資本合計	905,437	764,676
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,630	△1,971
為替換算調整勘定	14,714	9,113
その他の包括利益累計額合計	35,344	7,142
新株予約権	4,140	4,140
非支配株主持分	289,078	253,294
純資産合計	1,234,000	1,029,252
負債純資産合計	6,582,228	5,898,747

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成27年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成28年3月31日)
売上高	2,892,163	2,426,765
売上原価	2,330,694	1,971,576
売上総利益	561,469	455,188
販売費及び一般管理費	507,406	495,516
営業利益又は営業損失(△)	54,062	△40,327
営業外収益		
受取利息	230	325
受取配当金	710	896
固定資産売却益	—	2,843
為替差益	79,519	—
その他	6,502	5,820
営業外収益合計	86,962	9,887
営業外費用		
支払利息	47,826	43,640
遊休資産諸費用	25,911	21,637
為替差損	—	18,291
その他	3,198	235
営業外費用合計	76,936	83,805
経常利益又は経常損失(△)	64,088	△114,245
特別利益		
投資有価証券売却益	1,262	21,648
その他	918	715
特別利益合計	2,181	22,364
特別損失		
固定資産売却損	—	51,826
固定資産除却損	4,996	—
工場移転損失引当金繰入額	—	30,206
損害賠償金	—	10,063
その他	—	1,641
特別損失合計	4,996	93,737
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	61,273	△185,618
法人税等	△11,879	△15,572
四半期純利益又は四半期純損失(△)	73,153	△170,045
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△15,716	△29,284
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	88,870	△140,761

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年7月1日 至 平成27年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年7月1日 至 平成28年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	73,153	△170,045
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,384	△22,601
為替換算調整勘定	7,100	△5,601
その他の包括利益合計	8,484	△28,202
四半期包括利益	81,638	△198,247
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	97,355	△168,963
非支配株主に係る四半期包括利益	△15,716	△29,284

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年7月1日至平成27年3月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合 計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	産業機械 事業	建材機械 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,486,997	270,235	2,757,232	134,930	2,892,163	—	2,892,163
セグメント間の内部 売上高又は振替高	151	—	151	21,117	21,268	△21,268	—
計	2,487,148	270,235	2,757,383	156,047	2,913,431	△21,268	2,892,163
セグメント利益又は損失(△)	99,028	△56,091	42,937	12,838	55,775	△1,713	54,062

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、油圧機器等を含んでおります。  
2. セグメント利益又は損失の調整額は、主にセグメント間取引の消去であります。  
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年7月1日至平成28年3月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合 計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	産業機械 事業	建材機械 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,039,770	219,743	2,259,513	167,251	2,426,765	—	2,426,765
セグメント間の内部 売上高又は振替高	887	—	887	18,696	19,583	△19,583	—
計	2,040,657	219,743	2,260,400	185,947	2,446,348	△19,583	2,426,765
セグメント利益又は損失(△)	26,282	△81,080	△54,797	16,073	△38,724	△1,603	△40,327

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、油圧機器等を含んでおります。  
2. セグメント利益又は損失の調整額は、主にセグメント間取引の消去であります。  
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。